

除草剤の作用機構一覧

除草剤を作用機構別に分類しました

HRAC 分類	作用機構	化学グループ	有効成分	商品名(例)
A	アセチルCoAカルボキシラーゼ (ACCase) 阻害	アリルオキシプロピオン酸 エステル (FOPs)	メタミホップ	ユニホップ
			フルアジホップ P	ワンサイド P
B	アセト乳酸合成酵素 (ALS) 阻害	スルホニルウレア	イマザキン	オフIIの一部
			クロリムロンエチル	アトラクティブ
			シクロスルフアムロン	ダブルアップ
			エトキシスルフロン	グラッチェ
			フラザスルフロン	シバゲン
			ホラムスルフロン	トリビュート
			ハロスルフロンメチル	インブール
			イマゾスルフロン	ロンセイバー
			ヨードスルフロンメチルナトリウム塩	デスティニー
			メトスルフロンメチル	サーベル
			フルセトスルフロン	ブロードケア
			ピラズスルフロンエチル	アグリーン
			リムスルフロン	ハーレイ
			トリフロキシスルフロンナトリウム塩	モニュメント
		トリアゾロピリミジン	フロラスラム	ターザインプロの一部
C1	光合成(光化学系II) 阻害	ピリダジノン	PAC(クロリダゾン)	レナバックの一部
		トリアジン	アトラジン	アルテミストの一部
			シアナジン	グラメックス
			CAT (シマジン)	シマジン
		トリアゾリノン	アミカルバゾン	アミカル
		ウラシル	レナシル	レンザー
C3	光合成(光化学系II) 阻害	ベンゾチアジアジノン	ベントラジン	バサグランターフ
D	光化学系I 電子変換	その他	ACN (キノクラミン)	キレダー
E	プロトポルフィリノーゲン酸化 酵素 (PPO) 阻害	N-フェニルフタルイミド	クロルフタリム	ダイヤメート
		オキサジアゾール	オキサジアゾン	オレオール
		フェニルピラゾール	ピラフルフェンエチル	芝用エコパート
		トリアゾリノン	カルフェントラゾンエチル	タスク 39
F2	白化:4-ヒドロキシフェニルピルビン酸 ジオキシゲナーゼ酵素 (4-HPPD) 阻害	トリケトン	メソトリオン	アルテミストの一部
H	グルタミン合成酵素阻害	ホスフィン酸	グリホシネート	バスタ
I	DHP(ジヒドロプロテイン酸) 合成阻害	カーバメート (DHP阻害)	アシュラム	アージラン

HRAC 分類	作用機構	化学グループ	有効成分	商品名(例)
K1	微小管重合阻害	ベンズアミド(微小管重合阻害)	プロピザミド	カーブ
		ジニトロアニリン	オリザリン	ウィードロック
			ペンディメタリン	ウェイアップ
			プロジアミン	クサブロック
		ホスホロアミデート	ブタミホス	タフラー
		ピリジン	ジチオピル	ディクトラン
K2	有糸分裂/微小管形成阻害	カーバメート(有糸分裂阻害)	IPC(クロルプロファミン)	プロバイド
K3	VLFCFA(長鎖脂肪酸)の阻害 (細胞分裂阻害)	アセトアミド	ナプロパミド	クサレス
		クロロアセトアミド(V1)	アラクロール	ハブーン
		クロロアセトアミド(V2)	S-メトラクロール	シバッチ
		超長鎖脂肪酸阻害剤	ピロキサスルホン	ソリスト
		その他(VLCFAの阻害)	フェノキサスルホン	スパーダ
			カフェンストロール	ラボスト
		オキシアセトアミド	フルフェナセット	ティアラ
L	細胞壁(セルロース)合成阻害	ベンズアミド(細胞壁合成阻害)	イソキサベン	ターザインプロの一部
		ニトリル(細胞壁合成阻害)	DCBN(クロルチアミド)	グラスダン
			DBN(ジクロベニル)	カソロン
		トリアゾロカルボキサミド	フルボキサム	コンクルード
		アルキルアジン	トリアジフラム	イデトップ
			インダジフラム	スペクタクル
N	脂質合成阻害(非ACCase阻害)	ベンゾフラン	ベンフレセート	フルスロット
O	インドール酢酸用活性 (合成オーキシシン)	安息香酸(合成オーキシシン)	MDBAカリウム塩	アシュラスターの一部
		フェノキシカルボン酸	2,4-D ジメチルアミン塩	2,4-D アミン塩
			MCPA イソプロピルアミン塩	プラスコン M
			MCPP (メコプロップ)	トリメック Fの一部
			メコプロップ Pカリウム	一本締
			MCPP カリウム塩	MCPP 液剤
			MCPA ナトリウム塩	MCP ソーダ塩
		ピリジンカルボン酸	トリクロピル	ザイトロン
Z	不明		クミルロン	マックワン
			エトベンザニド	アビシエム
			オキサジクロメホン	フルハウス
			ビリブチカルブ	エイゲン
			エンドタールニカリウム塩	エンドタール K
			メチオゾリン	ボアキュア

HRACコード表日本版(2020年3月)を参考に改変

HRACコードBのスルホニルウレア剤は、スズメノカタビラやヒメクグなど難防除雑草において、低感受性や抵抗性の発達が報告されています。

同系統の除草剤を連用しないように、ご注意ください。



**LINE
公式アカウント**

タイムリーな芝草管理情報を配信中!

- 1 LINEの「ホーム」から右上のアイコン  をタップ
- 2 右記のQRコードを読み取って、友だち追加!

